

＋ 授 業 科 目	福祉用具学実習		
教 育 内 容	専門分野	福祉用具学	
担 当 教 員	星野元訓 他		
学 年	3	単 位 数	2
開 講 時 期	前期・後期	時 間 数	実習 90 時間

■ 授業概要

高齢者や障害者の日常生活を支える福祉用具について、見学・体験・製作・適合実習・演習を通して理解を深める。各種福祉用具の構造・機能・使用方法を学ぶとともに、利用者の身体機能・生活環境に応じた選択・調整・適合の基本を習得する。さらに、福祉用具が生活の質（QOL）に与える影響を理解し、適切な福祉用具活用を提案できる基礎的能力を養う。

■ 到達目標

1. 主な福祉用具（移動・移乗・排泄・入浴・食事・更衣等）の構造と機能を説明できる
2. 福祉用具の適応対象と使用目的を説明できる
3. 福祉用具を実際に使用し、使用者の視点で利便性や問題点を理解できる
4. 姿勢保持装置の基本的な製作・調整・適合を実施できる
5. 福祉用具が利用者の自立支援・QOL向上にどのように寄与するか説明できる

■ 授業内容

第 1 回	◆福祉用具の特徴と活用Ⅰ（演習） ・起居関連用具、床ずれ防止関連用具、移動関連用具
第 2 回	◆福祉用具の特徴と活用Ⅱ（演習） ・移動関連用具、移乗関連用具、排泄関連用具、入浴関連用具
第 3 回	◆福祉用具の特徴と活用Ⅲ（演習） ・自助具、コミュニケーション支援機器、被服・更衣
第 4 回	◆言語障害に対する補装具・福祉用具 ・意思伝達装置等の体験
第 5,6 回	◆義肢装具部品の製造と品質管理 ・義肢装具部品メーカー見学・体験
第 7,8 回	◆障害と生活支援Ⅰ ・肢体不自由者の生活における福祉用具（自立支援局見学・体験）
第 9 回	◆障害と生活支援Ⅱ ・肢体不自由者の社会復帰に向けた施設および装置（肢体機能訓練部見学・体験）
第 10 回	◆障害と生活支援Ⅲ ・障害者の就労に向けた支援と福祉用具（職業リハビリセンター見学・体験）
第 11-13 回	◆障害と生活支援Ⅳ ・電動車椅子の基本構造と特徴、付属品について（試乗体験）
第 14 回	◆障害と生活支援Ⅴ ・障害者の自動車運転支援とその用具（自動車訓練室見学・体験）
第 15 回	◆介護用品としての福祉用具の実際 ・介護すまいる館見学

第 16,17 回	◆福祉用具のひろがり・最新の福祉用具 ・国際福祉機器展見学
第 18,19 回	◆車椅子の設計（採寸）
第 20-45 回	◆姿勢保持装置の製作・適合
■ 評価方法	
「期末試験」で評価を行う。 期末試験 100%	
■ 教科書	
福祉用具専門相談員研修テキスト、義肢装具のチェックポイント第 9 版	
■ 留意事項・その他	
<p><講師の実務経験></p> <p>星野元訓：本学院義肢装具学科の専任教員として 24 年間勤務。</p> <p>中村喜彦：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に 5 年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として 17 年間勤務。</p>	